

【目的】

本研究では、日本の地域スポーツクラブと SC に関する研究枠組みを援用して、中国における SC の醸成・蓄積が期待される地域スポーツクラブの現状を把握するとともに、多種目クラブと単種目クラブの比較検討を行うことで、SC の醸成・蓄積の差異や特徴について検討していくことを目的とする。

【方法】

調査内容については中西（2008）の質問項目を参考として、合計 47 項目のアンケートを設定した。2020 年 6 月に上海市コミュニティスポーツ協会職員を通じて上海市の徐匯区徐家匯、静安区石門二路のコミュニティスポーツクラブおよび介護老人スポーツクラブの成人会員に Microsoft Forms で作成された質問紙の URL を配布し、7 月 6 日から 7 月 11 日までに回答を求めた。さらに、10 月 5 日から 10 月 10 日までフォローアップを行った。全ての項目について単純集計を行い全体の傾向を把握した。「クラブ入会による会員の身体的・精神的・社会的変化・スポーツ行動への変化」、「結合型 SC」と「橋渡し型 SC」は「1.まったくそう思わない」から「6.かなりそう思う」の 6 段階のリッカート尺度について等間隔尺度を構成するものとみなして平均点を算出した。さらに t 検定による有意差検定を行った。

【結果】

単種目と多種目クラブ会員の入会による変化を t 検定によって比較したところ、クラブ会員の社会的変化の 1 項目とスポーツ行動の変化の 3 項目において多種目クラブの方が変化の平均値が高く、統計的に有意差が認められた。身体的変化及び精神的変化には統計的有意差は認められなかった。単種目クラブと多種目クラブに入会している人々の SC を比較したところにおいて、「結合型 SC」の「互酬性規範②」と「橋渡し型 SC」の「信頼関係性⑥」2 項目以外の 18 項目で多種目クラブが単種目クラブよりも平均値が高い結果となった。また、「結合型 SC」では単種目と多種目クラブ間において 15 項目中 7 項目に有意差が認められた。一方「橋渡し型 SC」ではクラブタイプ間に 15 項目中 11 項目で有意差が認められた。

【結論】

中国における地域スポーツクラブ入会は、住民の身体的・精神的・社会的変化とスポーツ行動への変化に効果が期待できる。特に多種目クラブ会員は単種目クラブ会員と比べ、スポーツ行動への変化を実感しやすい。また、中国の地域スポーツクラブでは、多種目クラブが単種目クラブより SC を醸成・蓄積しやすい特徴を有していると考えられ、特に多種目クラブは「結合型 SC」より「橋渡し型 SC」を醸成・蓄積しやすいクラブタイプである。